

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどつした事でしょー」)

N. dani shifan

『沼』にハマる

昨年からコロナ禍で、日本のテレビが面白くなくなりまし。なので海外ドラマの「NCIS」、「CSI」、「シカゴ」、「911」、「クリミナル・マインド」などを見ています。

他にもユーチューブで「柴犬の麦ちゃん」やミニマリスタの「タケルさん」や「しぶさん」の動画も見ていました。たまたま、ピアノストの動画を始めたら止まらなくなりました。連弾や合奏は、迫力があり驚きました。ピアノストの演奏の仕方もあるけれど特徴があり、見続けていると好みが出て来ます。ヤマハ、カワイ、スタインウェイ、ベゼンドルファーなどのピアノの音色の違いも楽しめます。

今年の2月、学生服でグラウンドピアノを演奏している16歳の少年の動画を見つけた。切なくて優しくて綺麗な音色の曲に涙が溢れてしまいました。この頃は精神的に参っていて、とても辛い日々を送っていましたので心にその音色は響きました。その曲は、2014年に「よみいさん」が演奏された「蒼い鳥」です。セピア色した画面から

流れてきた高音質の曲は、とても16歳の少年が弾いたとは思えない様な感じがこもっていました。繊細さや優さに心を揺さぶられ癒されました。

よみいさんは、サングラス姿がトレードマークで23歳、ユーチューバー、作曲家、ピアニスト、太鼓の達人公式アンバサダーなどをしています。チャンネル登録者数は、205万人位で再生回数は、6億回になります。

ここ半年間は、よみいさんの動画巡りをしています。13歳から太鼓の達人のゲームをしている様子や耳コピーしたピアノ曲などを公開していますので、その動画数は相当な数になります。ポカロ？ 東方？ 音ゲー？ アイマス？。知らないジャンルの曲が一杯あるのもよみいさんに教えて貰いました。(楽譜の特徴は、音符が多くて難曲でテンポが速い)今では、大好きなジャンルになりました。

よみいさんは、ピアノを弾く技術や曲のアレンジが凄くて、色々な事を挑戦して視聴者を楽しませてくれます。

人と合わせるのが上手いので、かていさんやかみさん

発行 有限会社ナツプ
編集責任 中田 等
発行日 令和三年 八月
問合せ先 〇九八五五二七四〇九

ゆゆうたさん、ジェイコブさんとの連弾や合奏は、感動します。とにかく、ピアノを楽しく弾く様子を見るとこちらまで嬉しくなり心が満たされます。10年分の動画を遡って見ると、少年から青年、そして大人へと成長する過程の喜びや楽しさや苦悩が表現されているのが、母性本能をくすぐられてしまいました。これは、完全に『沼』にハマッてしまいました。ライブ配信でチャットやコメントするのも面白いのです。一度でいいからコンサートでよみいさんが、作曲された疾走感のある「ダン」や「ザー・クイン」を演奏される姿を見たいものです。今は、イヤホンでポカロや音ゲー、東方の難関曲を聴くのが、毎日の楽しみであり、ストレスや嫌な事や辛い事も忘れられます。勿論、クラシックやジャズポップ、アニソンも素晴らしい演奏をされますよ。



ランチ野郎 見参!

「看板の無い食堂」の巻

テレビを観ていたら日南市大堂津に看板の無い食堂があって、地元では有名な店らしいというので、6月の日曜日に行ってみる事にしました。

お店は「らーめん宮下」という名前で、営業時間は木曜日から日曜までの11時から13時のみの営業らしいです。

80歳のご主人、奥様、女性の従業員の3名で切盛りしています。

大堂津駅に12時に到着してナビを頼りに行ったのですが、2回ほど近くをスルーしてしまい、地元の人に聞いてようやくたどり着きました。看板は入口近くにベンチがあるので、そのベンチに置いてあるだけでした。



すでに満席状態で、20分くらい待ってようやく入店できました。

一番人気のあんかけ焼きそば700円と、チャーシューメン750円、そして焼飯650円を注文しました。



あんかけ焼きそばは皿ではなくどんぶりに入っていて、熱々なので火傷しないように注意が必要です。

焼飯は昔ながらのどこか懐かしい感じの味でした。

妻の注文したラーメンを少し分けてもらったのですが、自分は飲肥のあかせラーメンのほうが好みでした。

テレビで紹介されて、お客さんが増えて出前が大変なようので、近所の人は注文したものを受取りに来ていました。

ご主人が元気なうちは店を続けるかとテレビで言っていたので、ずっと続いてほしいお店でした。

「つなぐ」

コロナ禍の5月8日

息子の一年越しの結婚式を、挙げるのが出来ました。入籍は済んでいるし、一緒に暮らしているし...

「コロナは収まらないし、心配は尽きなかったけど、お嫁さんの満面の笑みを見て、息子の誇らしげな顔を見たら、...挙げて良かった。」と心から思いました

パーティーションに遮られ、挨拶回りのビール注ぎも無し。乾杯も音頭だけ、お友達との歌も無く、異例尽くしの結婚式。それでも...、両家の親族、お友達、職場の方々、色んな人達と出会い、新しい繋がりが出来ました。

私は平凡な主婦で、仕事もボチボチ、特殊な才能も無く、何とか頑張って(手抜き、周りの応援多数ありで)したことは子育て。

勉強も普通? 運動能力も普通? 健康だけが取り柄の子供たち。その子供が結婚をして、新しい家族を持って、私達夫婦からバトンを渡し繋げたような。

そんな気持ちに満たされた温かい結婚式でした。(直)



「言葉のちから」(ダイエット記録)

毎年恒例の健康診断。

今年もやってきました。

コロナ緊急事態宣言で昨年10月から今年3月まで、ジムを休会していたのですが、ジムの方から、4月からは休会してても、お金がかかりますと言われ、ポチポチ再開しようかねー、と軽い気持ちで再開したのでした。

ジム再開する前に、今の体重何キロじゃるかいと、体重計に乗ったら、な、なんと初の90キロオーバー！ 92・5キロという……、何度も測りなおしたり、パンツ一丁で乗っても余り変わらない。

……完全にコロナ太りというやつです…。

今年のスローガン、記事にしたのですが、覚えてますか？ そう

『心を燃やせ、脂肪も燃やせ』です。脂肪燃やすどころか増えたりしますが…

ジムの再開したのですが、以前と違うことがあります。マスク着用で運動しなくてはならなくなりました。

これは辛い。ましてや、汗はかくし、少し運動すると思

苦しさを感じます。

再開してすぐ、マスク着用したまま、スタジオレッスンに入ったんです。マスク無の頃はきついですが、どうにか45分間のレッスンいけてたのです。これが、マスクしたまま、息苦しさや暑さでまじ倒れそうになります。体重重い…途中でリタイアしたんです。

情けないと思いつつ、ランニングマシンを少しして、ロッカーに戻って着替えてたら、おじ様たちの談笑が聞こえてきました。

『あん、肥えた人は途中でリタイアしやっただね』 あん、肥えた人…わしじゃねーか。

この一言が、ジムに継続して通う起爆剤になりました。本当に感謝です。今となって

はあの言葉がなかったら、ジム休みがちだったでしょう。今はスタジオレッスンも45

分間いけるようになりましたし、体重も若干ではあります

が、落ちてきました。一言で嬉しくなったり、悲しくなったり、やる気にな

る。言葉の力って凄いですね。(光)

いんちきクワイマーが行く！

「大幡山(おおはたやま)」編

左の写真は、大幡池の畔から見た、霧島山系の主峰「韓

国岳」。この場所は、小林市の夷守台キャンプ場から林道を2.5キロ歩き、そこから二時間ほど急登に四苦八苦した、標高1200mにある大幡池のほとりです。ここからさらに高度をあげると大幡山の山頂(1350m)へ辿り着きます。

自分の二本の脚でしか

たどりつけない風景は、その感動をカメラに収めることなんてとても無理。

鳥の声、鹿の声、虫たちの声、風と日差しと空気の匂い。

その時のその瞬間だけの風景。



時間は流れず、そこ、ここに在るだけのもの。

霧島山系は、活火山を含む大小20以上の山域を指す言葉です。霧島という名前の山があるわけはありません。火星の表面のような荒れた山もあれば、溪流と緑に覆われた、水の山の側面もある。それぞれが変化に富んでいるので、登りたい山を絞り込むのはむづかしい。



車止めの先が林道。2.5キロは長い…。



いよいよここから急登がはじまる。

気儘な単独登山行である。とりあえずハンドルを霧島方面に向け車を走らせるが、どの山頂に立つかは、一時間ちょっとのドライブの間に決まることが多い。

夷守台は子供が小さい頃何度もオートキャンプ場に行った場所。その駐車場からてくてくと歩いて山へ登るのだ。

大幡山の山頂からは、新燃岳や獅子戸岳がすぐ目の前に見える。少し遠くには高千穂の峰が神々しくそびえている。終わりかけのミヤマキリシマのピンクが斜面の緑の中にちらほらとアクセントになり、美しい。

携帯式のクーラーバッグから冷えたノンアルビールとコンビニの冷やし中華を取り出し、絶景の中で至福の時を過ごす。あー、やめられまへんなあ。(賢)



山頂から新燃岳が指呼の間にあります。

編集後記

オリンピック。前回の東京オリンピックの年に生まれた私は、もういいオッチャンです。当時のオリンピックのことなんて覚えていないわけもなく、おぼろげに覚えてるのは大阪万博あたり。

時節柄、様々な意見が飛び交う今回のオリンピックですが、主役であるアスリート達にとっては、感染症も国際政治バランスもスポンサーの思惑も二の次。己の肉体と精神で正々堂々と競技を行うのみ。村度のない清々しい歓喜の笑顔はとても美しいです。汗もかかずに安全な場所から匿名で非難するヤカラなぞ、踏みつぶしてしまえ！ 学生時代、レスリングに熱中していた私ですが、試合のマットの上ではたった一人です。恐怖心を押さえこみ全力でぶつかりあった経験はどこかで今に繋がっています。スポーツは人の成長にかかせないものだと思っています。(賢)